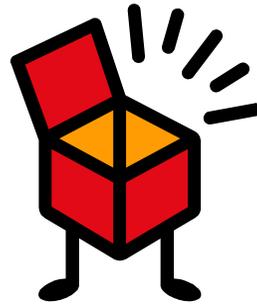


日立金属株式会社 2015年度中期経営計画の状況



Materials Mag!c

2014年10月27日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

2015年度中期経営計画のアクションプランを前倒しで実行 好業績に隠れている「伸び悩み」を打破

「守り」から「攻め」へ

1. グローバル戦略の加速
2. 事業領域の拡大・創出
3. 強固な経営基盤の確立

中長期的成長に向けた経営資源の再配分を実行

特殊鋼事業(高級金属製品セグメント)				自動車鋳物事業(高級機能部品セグメント)
項目	航空機関連の事業領域拡大	工具鋼のキャッシュカウ化	超硬工具事業の基盤強化	鉄鋳物事業の事業領域拡大
概要	MMCスーパーアロイの株式取得(0%→51%)	<ul style="list-style-type: none"> 国内流通網再編(子会社の再編) 価格是正 	日立ツールの株式譲渡(100%→49%)	<ul style="list-style-type: none"> Waupaca Foundry Inc.の株式取得合意(0%→100%) インド現地鋳物製造会社に資本参加
	<ul style="list-style-type: none"> 14/2Q~連結子会社 大型設備投資も実行 	<ul style="list-style-type: none"> 販売体制の効率化 製品構成組み換えによる収益性向上 	三菱マテリアルの経営資源を活用、技術基盤を強化	持続的成長が期待できる輸送機用鉄鋳物事業において、Waupaca社買収により世界市場で圧倒的ポジションを確立 14年10月クロージング予定
電線材料事業(電線材料セグメント)				
項目	電線事業の再構築・基盤強化			成長期待分野の事業規模拡大
概要	ジェイパワーシステムの株式譲渡(50%→0%)	住電日立ケーブルへの出資比率変更(50%→34%へ)	上海日光銅業への出資比率変更(約49%→約13%)	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道車両用電線(中国、欧米拡大) 医療用電線(生産集約で収益性向上) 自動車部品(アジア、中米拠点強化)
	<ul style="list-style-type: none"> 高圧電力ケーブル 市場環境の変化に即応できる体制へ 14年4月1日完了 	<ul style="list-style-type: none"> 低圧電力ケーブル 建設電販分野の経営責任を明確化 14年11月1日予定 	<ul style="list-style-type: none"> 伸銅品(銅管) 中国現地企業へ株式譲渡 	差別化・技術強化による顧客基盤拡大 製造拠点の位置づけ再定義による、成長市場での事業拡大

グローバル競争力強化、事業領域拡大に向けた成長投資を実施

(億円)

	13年度			14年度				15年度				13年度～15年度累計		
	当初計画	実績	計画比	当初計画	今回計画	計画比	前年度比	当初計画	今回計画	計画比	前年度比	当初計画	今回計画	当初計画比
投資額	420	320	△100	620	2,010	+1,390	+1,690	700	1,150	+450	△860	1,740	3,480	+1,740
FCF	490	697	+207	290	△250	△540	△947	280	200	△80	+450	1,060	647	△413

FCF: フリーキャッシュフロー

当初計画: 2013年8月6日公表 中期経営計画

【14年度の主な投資案件】

- ・革新的大型真空誘導溶解炉の導入(高級金属製品セグメント)
- ・MMCスーパーアロイの株式取得(高級金属製品セグメント)
- ・希土類磁石の生産能力増強投資(磁性材料セグメント)
- ・Waupaca Foundry Inc.の買収(高級機能部品セグメント) 他

(億円)

	13年度			14年度				15年度				13年度～15年度累計		
	当初計画	実績	計画比	当初計画	今回計画	計画比	前年度比	当初計画	今回計画	計画比	前年度比	当初計画	今回計画	当初計画比
減価償却費	340	336	△4	380	400	+20	+64	400	460	+60	+60	1,120	1,196	+76
研究開発費	170	168	△2	185	200	+15	+32	190	200	+10	±0	545	568	+23

当初計画: 2013年8月6日公表 中期経営計画

Waupaca社買収影響を織り込んだ業績予想・計画

(億円)

	2012年度実績 日立金属・日立電線 単純合算ベース (為替レート1\$=83.10円)	2013年度実績 日立電線 13/1Q業績合算後 (為替レート1\$=100.24円)	2014年度 業績予想 (為替レート1\$=104円)	2015年度 中期計画見直し後 (想定為替レート1\$=100円)
売上高	8,977	8,962	9,900	11,100
営業利益	(2.8%) 254	(7.0%) 628	(7.8%) 770	(8.1%) 900
経常利益	286	639	725	865
(特別損益)	△193	△78	△55	65
税引前純利益	93	561	670	930
当期純利益	38	437	460	700
総資産	7,999	8,407	10,400	10,600
株主資本	3,257	3,629	4,000	4,600
有利子負債	2,027	1,760	2,400	2,300
D/Eレシオ(倍)	0.62	0.48	0.60	0.5
ROE	1.2%	12.7%	12.1%	16%
海外売上高比率	37%	41%	47%	52%
海外生産比率	22%	25%	33%	40%
人員(人)	28,476	26,850	30,700	30,600

* Waupaca社の業績は下記にて予想及び計画数値に織り込んでおります。
 14年度予想: 14/11~15/3の5か月分を反映 売上高 775億円、営業利益 35億円
 15年度計画: 15/4~16/3の12か月を織り込み 売上高 1,870億円、営業利益 130億円

Waupaca社買収影響を織り込んだ業績予想・計画

(億円)

		2012年度実績 日立金属・日立電線 単純合算ベース (為替レート1\$=83.10円)	2013年度実績 日立電線 13/10業績合算後 (為替レート1\$=100.24円)	2014年度 業績予想 (為替レート1\$=104円)	2015年度 中期計画見直し後 (想定為替レート1\$=100円)
高級金属製品	売上高	2,229	2,377	2,590	2,690
	営業利益	177	254	320	315
	営業利益率	7.9%	10.7%	12.4%	11.7%
磁性材料	売上高	1,421	1,342	1,350	1,440
	営業利益	△9	117	165	165
	営業利益率	△0.6%	8.7%	12.2%	11.5%
高級機能部品	売上高	1,720	1,877	2,725	4,000
	営業利益	102	128	175	310
	営業利益率	5.9%	6.8%	6.4%	7.8%
電線材料	売上高	3,620	3,394	3,250	3,100
	営業利益	43	203	200	205
	営業利益率	1.2%	6.0%	6.2%	6.6%
その他・調整額	売上高	△13	△28	△15	△130
	営業利益	△59	△74	△90	△95
合計	売上高	8,977	8,962	9,900	11,100
	営業利益	254	628	770	900
	営業利益率	2.8%	7.0%	7.8%	8.1%

* Waupaca社の業績は高級機能部品セグメントに反映

14年度予想:14/11~15/3の5か月分を反映 売上高 775億円、営業利益 35億円

15年度計画:15/4~16/3の12か月を織り込み 売上高 1,870億円、営業利益 130億円

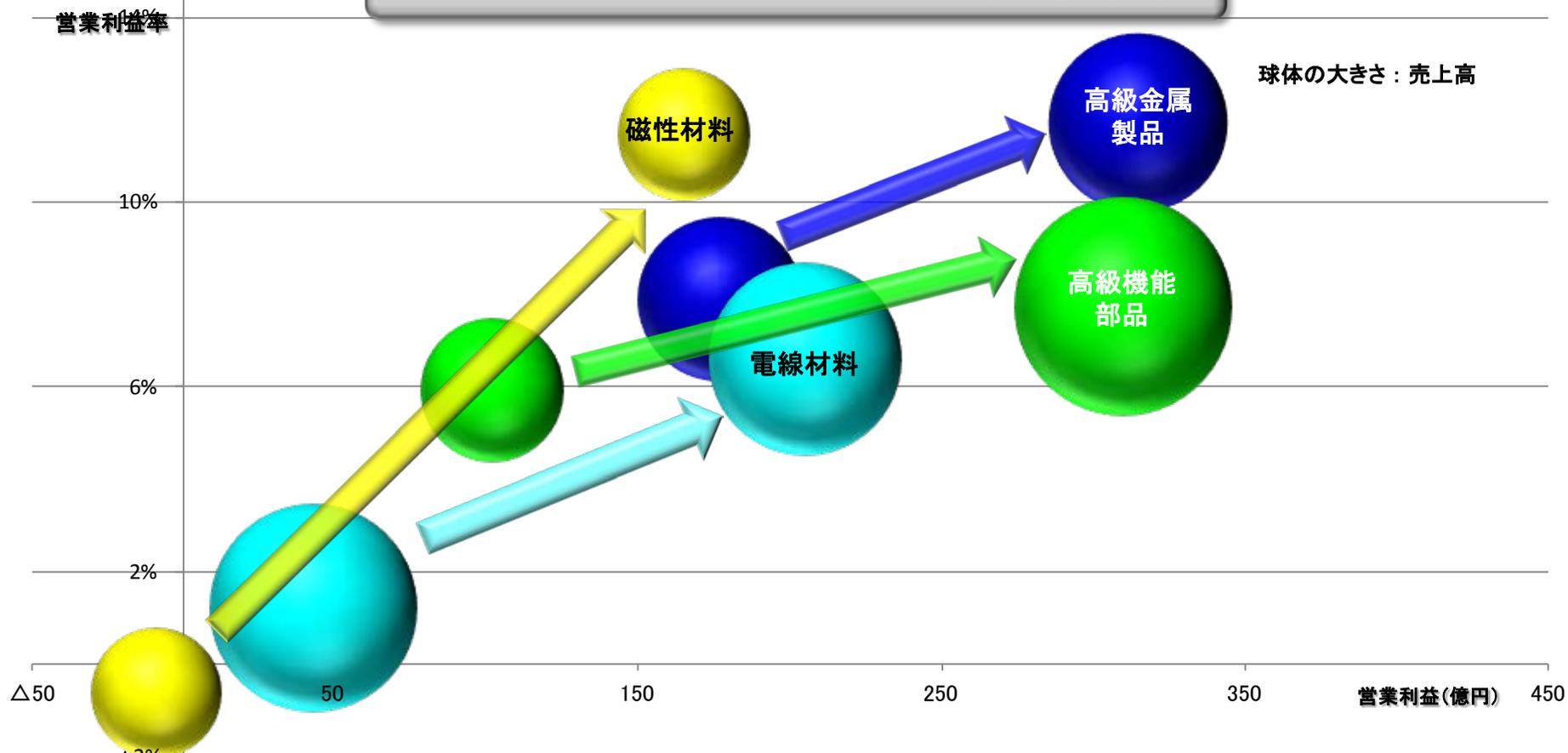
Copyright ©2014, Hitachi Metals, Ltd.

セグメント別概要

* Waupaca社買収後



利益を生み出せる分野に「選択と集中」を実行



	12年度実績		15中期計画見直し後		今後の取り組み
	売上高	営業利益(率)	売上高	営業利益(率)	
高級金属製品	2,229	177(7.9%)	2,690	315(11.7%)	基盤事業の競争力強化、航空機・エネルギー関連の立ち上げ加速
磁性材料	1,421	△9(△0.6%)	1,440	165(11.5%)	原材料価格による特殊要因が改善、自動車関連等、成長分野に注力
高級機能部品	1,720	102(5.9%)	4,000	310(7.8%)	Waupaca社効果刈取り、耐熱鋳造部品も環境規制強化で拡大へ
電線材料	3,620	43(1.2%)	3,100	205(6.6%)	電線事業の基盤再構築、伸びる分野に経営資源を投入

特殊鋼事業：産機材の競争力強化＋工具鋼ビジネスの再構築

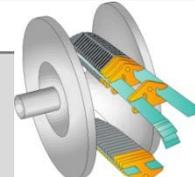
産機材の競争力強化

自動車関連材料の需要拡大

- －ピストリング材：海外拠点の強化
- －CVTベルト材：大型設備投資(VIM)を実行、前工程が同じとなる航空機・エネルギー材、工具鋼にも相乗効果創出



ピストリング材



CVTベルト材

* VIM…革新的大型真空誘導溶解炉 (Vacuum Induction Melting & Casting)

売上高目標： 150億円(13年度) → 200億円(15年度) → 300億円(2018年)

工具鋼ビジネスの再構築

事業基盤の強化



YSSダイカスト金型用鋼
DAC-MAGIC®



YSS冷間ダイス鋼
SLD-MAGIC®

・主力鋼を強化

設備投資・生産技術により、冷間工具鋼(SLD)、熱間工具鋼(DAC)のプロセスコスト等を削減、生産効率を向上

・国内流通網の再編、戦略営業の強化

子会社を再編、日立金属工具鋼へ経営資源を集約

・汎用鋼の収益力改善(価格是正、製品構成見直し)

市場領域の拡大

アジアに加え、欧米市場へ展開

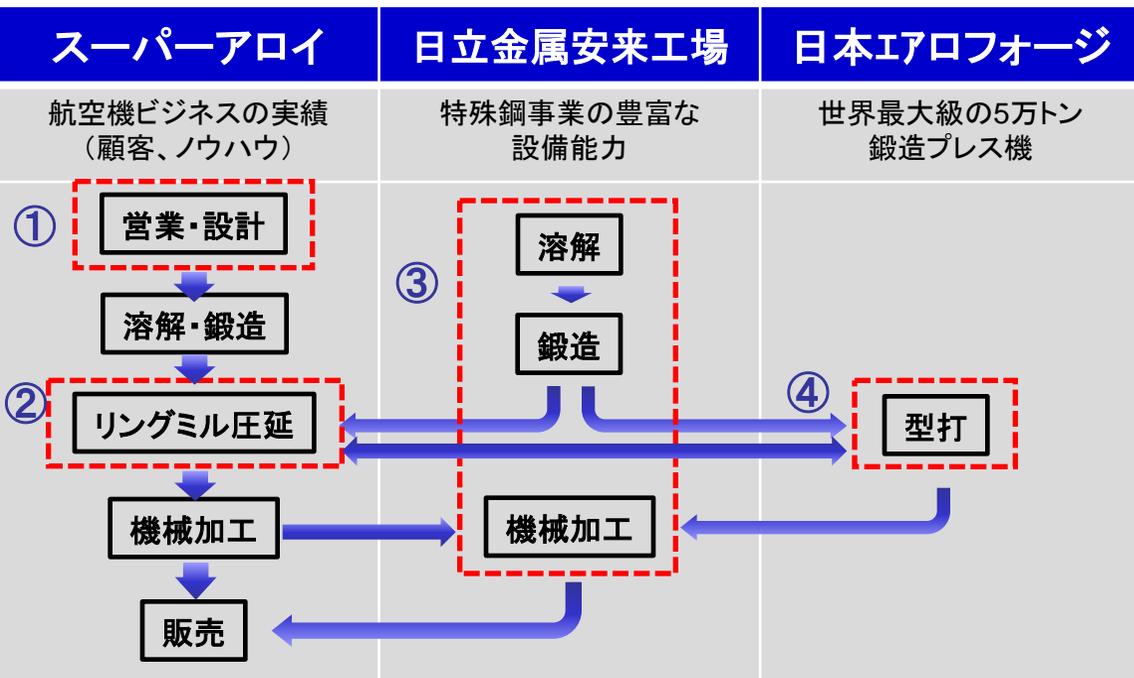
国内営業体制との連動でソリューション営業をグローバル展開

売上高目標： 560億円(13年度) → 620億円(15年度) → 700億円(2018年)

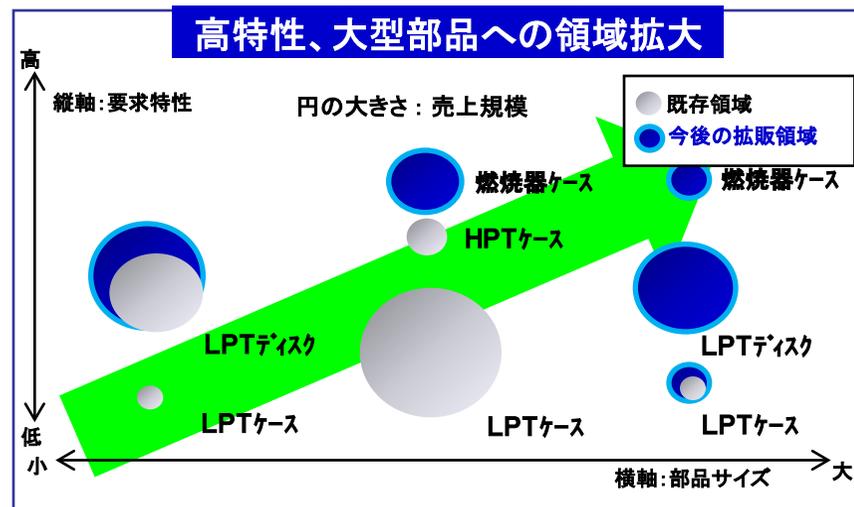
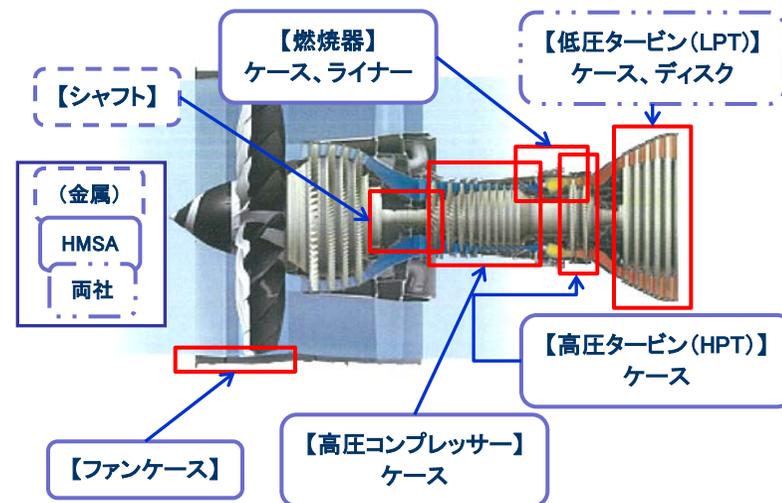
次の成長に向けた基盤を強化

特殊鋼事業：航空機・エネルギー分野の事業領域拡大

■ 航空機・エネルギー部材の生産体制



- ① スーパーアロイ実績を活用した顧客基盤拡大、認定取得の加速
 - ② 日立金属出資金による大型リングミル投資(16/4月稼働)
 - ③ 日立金属安来工場保有生産設備活用による大型化対応
 - ④ 日本エアロフォージの5万トンプレス活用による高品質対応
- 高特性、大型部品への事業領域拡大**



売上高目標： 140億円(13年度) → 250億円(15年) → 500億円(2025年)

磁石事業：自動車関連を中心にグローバル市場で成長実現

希土類磁石

自動車関連を中心に年10%成長

●経営資源の再配分

- ・中国製造拠点の設置
- ・国内拠点の再編



希土類磁石
「NEOMAX®」

●技術力による差別化

- ・Dy / Tb拡散技術による磁石の高性能化
- ・新技術開発～量産化のスピードアップ

●コスト競争力の強化

Dyフリー材の量産・供給開始

フェライト磁石

●国内：高性能材の開発・量産

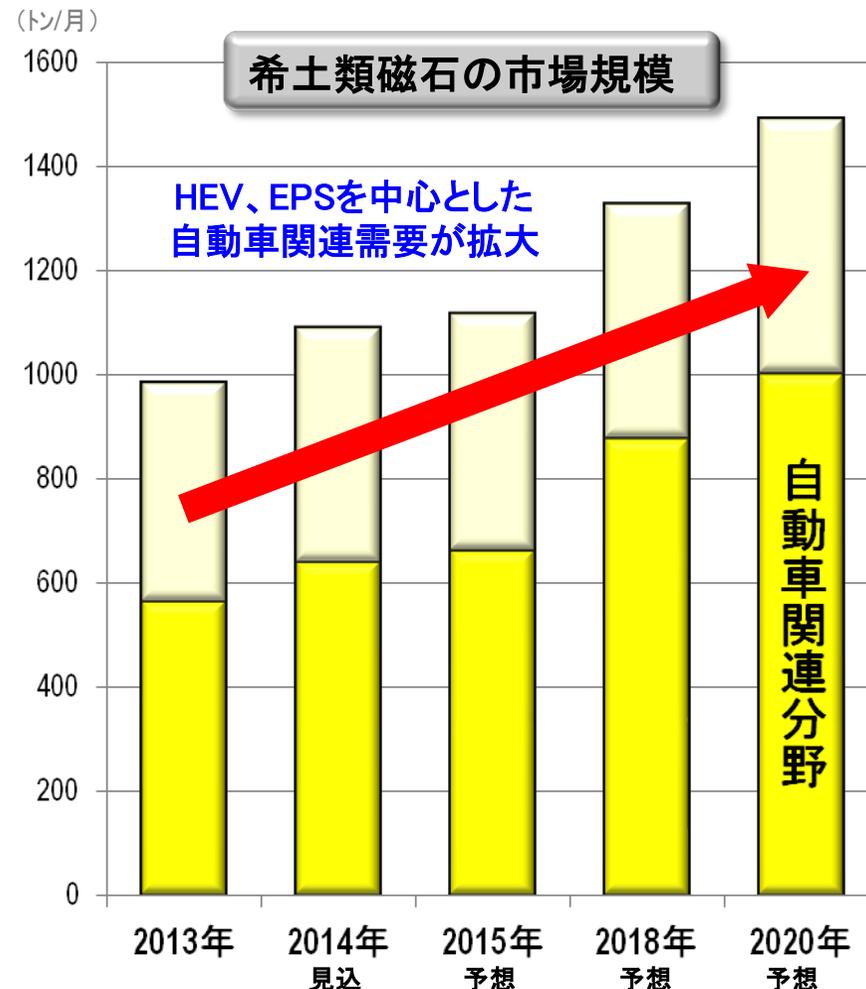
高特性材による差別化

●海外：一般材の量産

グローバル供給体制



高性能フェライト磁石
NMF®シリーズ



鉄鋳物事業：グローバル鋳鉄市場における競争優位ポジションの確保

買収の
目的

事業領域の拡大

⇒ Waupaca社の圧倒的コスト競争力を活かした欧州・中南米への展開

グローバル市場で持続的成長が可能となる強固な事業基盤の確立

⇒ 両社の技術、製造拠点、顧客基盤等の相互活用

日立金属

- Ductile Casting Iron: 足回り関連、ハイエンド



- 高い材料開発力、製品設計力
- 世界4極体制(日・韓・米・印)

Waupaca社

- Gray Iron・Ductile Casting Iron: ブレーキ関連、ミドルレンジ



- 高い生産技術力、コスト競争力
- 北米市場に特化、圧倒的生産能力

鋳鉄事業のグローバル生産体制 (18,400トン/月→約150,000トン/月へ拡大)

※数字は各拠点の生産能力(t/月)



電線事業：差別化技術強化による成長市場での事業拡大

●鉄道車両用電線

- ・中国事業の拡大
 - 新製品開発、中国現地生産化
 - 現地製造拠点の生産能力増強
- ・北米市場への参入



売上高目標： 37億円(13年度) → 160億円(18年)

●医療用電線

- プローブケーブルの収益性向上
 - 中国加工拠点の生産効率化
 - アセンブリの自動化促進



売上高目標： 55億円(13年度) → 190億円(18年)

自動車部品事業：グローバルでの電装部品事業拡大

タイ・メキシコをコア製造拠点化



●トルクセンサー

タイに加えメキシコで量産開始



●EPBハーネス

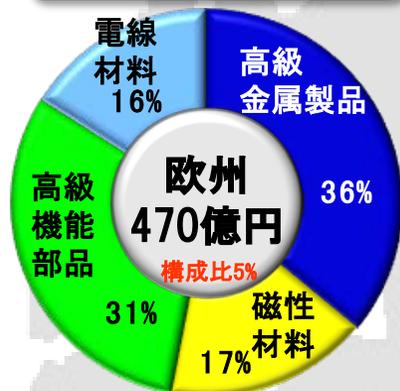
中国・チェコに加え
タイ・メキシコで量産開始
※EPB: Electric Parking Brake



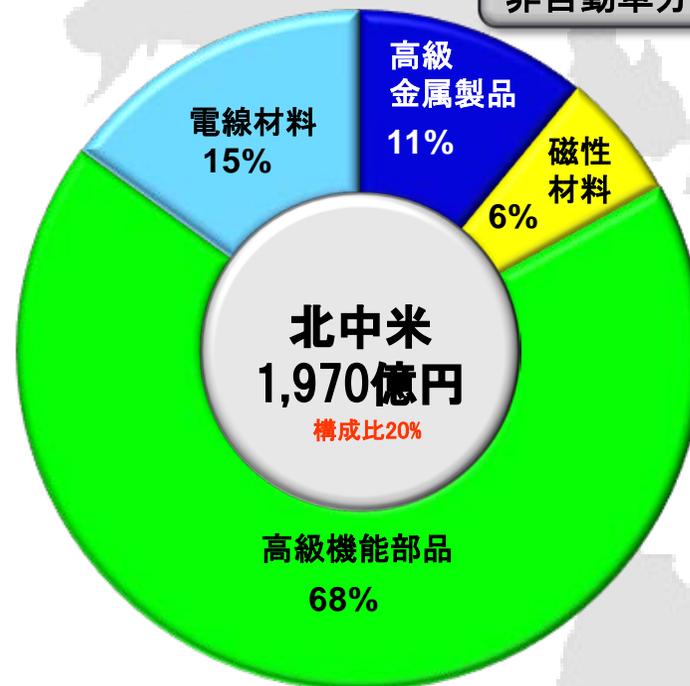
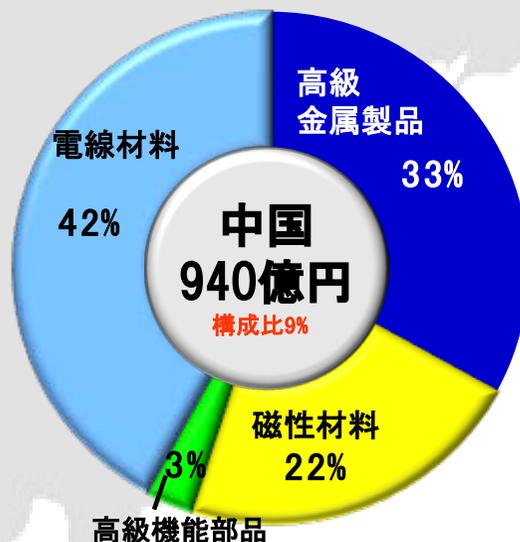
売上高目標： 200億円(13年度)
→260億円(15年度) → 390億円(2018年)

地域戦略と製品戦略のバランスをとりながら グローバル成長戦略を実行

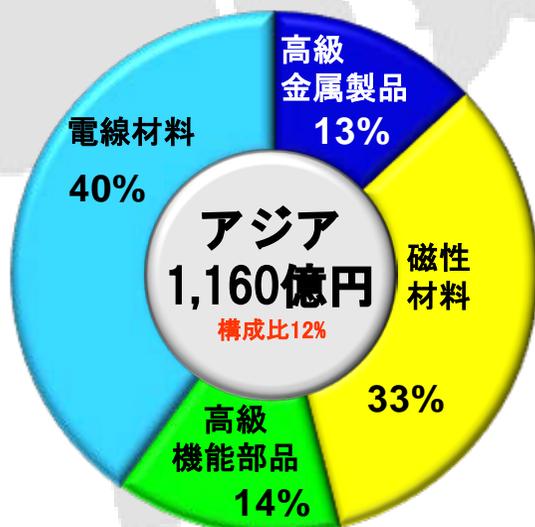
欧州：事業規模の拡大



北中米：
非自動車分野の拡大



中国・アジア：
・事業規模の拡大
・自動車関連分野の拡大



* 数値は2014年度見込

海外売上高比率： 2014年度(見込) 47% → 2015年度(計画) 53%



**日立金属は
グローバル成長戦略を加速し
持続的成長をめざします**

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動